

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	セルフブランディング		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	セルフブランディング	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	音楽スタッフ総合コース / アーティストスタッフコース / レコーディングコース / PA&Recコース / PAコース / 照明コース / ローディーコース / 企画制作コース / 舞台製作コース			教員の 実務経験の有無		
担当講師 実務経歴	SchooSwingを利用□					
授業概要						
オンデマンド学習システム「Schoo Swing」の動画群の中から抜粋し、視聴する。(自己啓発、リーダーシップ、価値観、目標達成など) また、卒業生や外部協力企業に依頼してオリジナルコンテンツを作成し、視聴する。						
到達目標						
学生自身が、その手にしっかりと「自分の人生のオール」を持ち、漕いでいくために、自分のブランドを知り、自分が目指すのはここだ！という「羅針盤(コンパス)」を設定できるようなコンテンツを、オンデマンド学習システム「Schoo Swing」の動画群の中から抜粋し、視聴する。						
授業計画・内容						
【前期】 1～8回目	「理想の自分、なりたい自分」と価値観					
【前期】 9～13回目	ビジョン・ゴール					
【前期】 14～19回目	感情のコントロール					
【後期】 20～24回目	思考のルール					
【後期】 25～27回目	リーダーシップ					
【後期】 28～33回目	チームビルディングとフォローシップ					
【後期】 34～37回目	物事のとらえ方(パラダイムシフト)					
【後期】 38回目	コミュニケーション力					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考	各動画については、レポートを課す。①今回の動画で印象に残った言葉は？②今回の動画を視聴して、明日から行動することを具体的に1つあげてください。③今回の動画の感想は？ 一方的な動画視聴で終わらないように、担当教務からのフィードバックを全体に行っている。					

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	色彩講座		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	色彩講座	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	照明コース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	テレビ番組制作関連業務などを経て、2006 年から店舗ディスプレイ業務に従事。その経験を活かし、企業や専門学校でディスプレイと色彩講師を務める。また、企業向けに販売促進のための色彩活用セミナーを実施。商業施設や小売店の売り場づくりのカラーコンサルティングにも携わる。					
授業概要						
照明・映像・デザインといった専攻科目に共通して必要な色彩知識について学ぶ。						
到達目標						
色彩検定3級の取得を目標とする。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	【パーソナルカラー】「自分に似合う色」を知り、身だしなみに活かす/PCCS(色相、明度、彩度) 【色を活用するための基礎知識】トーンの仕組みを理解する。トーン の概念と分類、色の表示方法					
【前期】 6～10回目	【オリエンテーション・パーソナルカラー】色の分類と三属性 【配色】トーン配色/色相配色/色相とトーンを組み合わせた配色/配色の基本的な技法					
【前期】 11～15回目	【色彩心理】色の心理的効果/インテリアにおける色の心理的効果/色の連想と象徴/色相と関係する配色イメージ 【光と色】色はなぜ見えるのか/照明と色の見え方/目のしくみ/混色					
【前期】 16～20回目	【前期試験対策～前期試験】 【ファッション/インテリア/慣用色名/検定対策】					
【後期】 1～4回目	【検定対策】模擬試験 【CUD(カラーユニバーサルデザイン)】CUDの基礎知識/職場の安全に役立つ色の使い方/色を見分けやすくするポイント					
【後期】 5～8回目	【検定対策】検定問題の傾向と解き方を解説する 【CUD(カラーユニバーサルデザイン)】色覚の多様性に対応する/カラープランニングの方法					
【後期】 9～12回目	【ライブハウス、CDショップなどで活用するPOP・看板のカラーコード&デザイン】POPの種類と役割 販促ツールの配色/テーマやイメージを表現する色の使い方/ハンドレタリング文字の書き方					
【後期】 13～16回目	【後期試験対策～後期試験】 【ライブハウス、CDショップなどで活用するPOP、看板のカラーコード&デザイン】プライスカード、POPの基本的な作り方					
【後期】 17～20回目	【ライブハウス、CDショップなどで活用するPOP、看板のカラーコード&デザイン】デザインソフトを使った作品制作～作品発表。					
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、提出物、出席率等を総合的に評価)					
学生へのメッセージ	仕事では様々なニーズに対応するための色彩提案が求められます。 そのためにも色彩の基礎知識を身に付け、それを実践的に活用するという視点を持って授業に臨んでください。					
使用教科書	文部科学省後援・色彩検定公式テキスト3級編					

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	パソコン講座Ⅰ		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	パソコン講座Ⅰ	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	PAコース/照明コース/ローディーコース/舞台製作コース/企画制作コース□			教員の 実務経験の有無	該当	
担当講師 実務経歴	デザイン会社で雑誌・パンフレット制作を担当。 DTP(デスクトップパブリッシング)のデザイン制作から広告などの企画提案・制作・ディレクション業務に至る一連の業務に従事。					
授業概要						
通常業務でよく使用されている「Word」「Excel」「Illustrator」についての解説、操作実習。 フライヤー・WEBプロモーション時における情報管理の徹底、SNSの取り扱いについて						
到達目標						
音楽業界で必要とさせる「Word」「Excel」「Illustrator」の3つのソフトの基本的な操作方法。 就職してからすぐに役立つ技術の修得。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	iMacの電源の入れ方 各種アカウントの設定 Macの基本操作の確認					
【前期】 6～10回目	【Word】 Wordの使用方法 タイピング練習を兼ねた文字入力					
【前期】 11～15回目	【Excel】 簡単な計算 タイムテーブル作成					
【前期】 16～19回目	【イラストレーター導入】 基本ツールの説明 図形描画、色付け、最前面、最背面					
【後期】 20～24回目	【ペンツール】 直線を描く/スムーズポイント/コーナーポイント 直線から曲線への変化					
【後期】 25～29回目	・パスの修正の仕方 ・整列設定(等間隔)・回転、移動等 ・ペンツール総合問題					
【後期】 30～34回目	Excellによる計算法 Excellによる精算書作成					
【後期】 35～38回目	課題提出 1年間の総まとめ					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	エンタメ業界講座		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	エンタメ業界講座		年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	PAコース/照明コース/ローディーコース/舞台製作コース 企画制作コース/アーティストスタッフコース/音楽スタッフ総合コース			教員の 実務経験の有無	該当	
担当講師 実務経歴	2001年に株式会社ドワンゴへ入社。部長職を経験後、音楽レーベル子会社へ転籍、プロデューサー職へ。ボーカロイドをはじめとするニコニココンテンツや声優・ラジオコンテンツのCDパッケージを数多く担当。現在はフリーランスとして、ネットやアプリの配信番組も多く担当、その他、動画の撮影編集、SNSを含めた運営及び運用、専門学校講師等に従事。					
授業概要						
アーティスト/タレントとプロダクションを中心とする、エンタテインメント業界のさまざまな職種と業務および関わりを学ぶ。						
到達目標						
業界内の会社知識の修得および業界企業の相関性の理解。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	芸能業界の全体像について					
【前期】 6～10回目	プロダクションの業務内容について レコード会社の業務内容について					
【前期】 11～15回目	著作権について 音楽出版社の業務内容について					
【前期】 16～19回目	TV・ラジオ/書籍出版社/Webメディアの業務内容について 媒体研究					
【後期】 20～24回目	RECスタジオ/マスタリングスタジオ/リハーサルスタジオについて					
【後期】 25～29回目	映像制作会社/編集スタジオ/MAスタジオ/音プロについて					
【後期】 30～34回目	ホール/ライブハウス/イベントについて					
【後期】 35～37回目	PA/照明/舞台/ローディー/機材レンタル会社について					
【後期】 38回目	総括。					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考	適宜Webサイト上の関連ページを提示し、授業を実施。					

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	一般教養講座		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	一般教養講座	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	PAコース/照明コース/ローディーコース/舞台製作コース/企画制作コース/ レコーディングコース/PA&レコーディングコース/アーティストスタッフコース			教員の 実務経験の有無	該当	
担当講師 実務経歴	音楽専門誌の記者を経て、東京未来大学こども心理学部・特任准教授として教鞭をふるう。 現在は音楽教育の場におけるコミュニケーションのあり方をテーマに研究中。					
授業概要						
「コミュニケーション能力」「状況判断能力」「説明能力」の3点をテーマとした講義。						
到達目標						
社会人としての基礎的スキルの習得。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	Eメールの使い方/Eメールのアドレス帳の活用 言葉による状況説明①(時系列) 就職活動セミナー①					
【前期】 6～10回目	言葉による状況説明②(情報の整理)/言葉による状況説明③(話の要約)/言葉による状況説明④(主観と客観) 文章の書き方①(話し言葉、書き言葉)/文章の書き方②(5W1Hの活用)					
【前期】 11～15回目	ビジネスメールの書き方 就職活動セミナー② ビジネス文書①(文書の種類)/ビジネス文書②(社内文書)					
【前期】 16～19回目	ビジネス文書③(社外文書)/ビジネス文書④(社交文書) コミュニケーション論(概論)/非言語コミュニケーション/表情とコミュニケーション					
【後期】 20～24回目	就職活動セミナー③ 距離によるコミュニケーション/言語コミュニケーション/説得的コミュニケーション					
【後期】 25～29回目	敬語①(敬語の分類)/敬語②(尊敬語)/敬語③(謙譲語)/敬語④(間違いやすい敬語)/敬語⑤(仕事でよく使われる敬語)					
【後期】 30～34回目	就職活動セミナー④ 履歴書の書き方①(基本データ)/履歴書の書き方②(自己PR)/履歴書の書き方③(志望動機)					
【後期】 35～38回目	【心理学講座】 自分を知る/社会からの影響/他者との関わり					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	分野別講座Ⅰ		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	照明分野別講座Ⅰ	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	76回(152単位時間)	年間単位数	10単位
科目設置コース	照明コース			教員の 実務経験の有無	該当	
担当講師 実務経歴	照明会社にて大規模コンサート・イベントの照明エンジニアを経て、照明会社を設立。 代表取締役役に就任後も様々な現場で照明オペレーターとして活躍中					
授業概要						
オペレートだけに留まらず、メンテナンスからデスクワークに至るまで、照明家として必要なことを学ぶ。 舞台演出に必要な照明の効果を知りプランニング・オペレートのポイント学ぶ。						
到達目標						
就職してから分かるコンサート現場におけるチーム一丸で動く他セクションの動きを知る。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	照明スタッフ以外の他セクション(舞台、PA、企画制作、ローディー)に関しての基礎知識 舞台用語、ホールの機構について 舞台照明で使用される電源ケーブルの知識					
【前期】 6～10回目	舞台照明で使用されるコネクターの知識 電気に関する基礎知識					
【前期】 11～15回目	電気容量の計算の仕方 電気制作実習 ・電源ケーブル作成					
【前期】 16～19回目	電気制作実習 ・半田付け練習 ・信号線作成 現場へ持ち出す機材準備の仕方、練習					
【後期】 20～24回目	譜面割の仕方 本番のオペレートで使用される、CueSheetの作成の仕方、見方					
【後期】 25～29回目	本番CueSheetの作成 照明会社、ホール管理など照明の仕事の種類について					
【後期】 30～34回目	学内にはないホール設備、舞台機構に関して学ぶ・外部ホールへ乗り込む際の、 電話対応やメールの仕方					
【後期】 35～38回目	演出映像鑑賞 大道具・小道具の照明作りこみ方法					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	照明実習Ⅰ－Ⅰ		授業形態／必・選	実習	必修
	学則上表記	照明実習Ⅰ－A	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	76回(152単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	照明コース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	ホール管理、舞台照明の現場にてキャリアを積む。 後にフリーランスとなり、コンサート、ダンス、芝居、ミュージカルなど幅広く様々な現場で照明プラン・オペレーターとして活動中。				
授業概要					
照明図面の書き方、読み方、明かりのデザイン、電気に関しての知識、配線や機材の扱い方、メンテナンスについて学ぶ。					
到達目標					
1年次最後の合同企画イベントにて、照明仕込み図のデザインから本番の照明オペレートまで、現場の一連の流れを行う。					
授業計画・内容					
【前期】 1～5回目	カラーフィルターに関して学ぶ 機材の種類に関して学ぶ(トツCS-6・フレネルFS-6、プリモ)パンドア等の知識、扱い方)				
【前期】 6～10回目	機材の種類に関して学ぶ(ITO・ストロボアクセサリ－) 仕込み/PIN(照明の仕込み方、吊り込み方、バラし方、PIN SPOTの扱い方)				
【前期】 11～15回目	PIN/竿(竿の上げ方、扱い方竿を使用したシュートの仕方) 調光卓Express(調光卓の扱い方、使い方説明)				
【前期】 16～18回目	衣装による照明の色の見え方 明かりの見え方 照明プランニングの仕方				
【前期】 19～21回目	課題曲の打ち込み実践 イベント照明の打ち込み・プランニング/オペレート実践 脚立を使用した仕込み方				
【後期】 22～25回目	仕込み練習 前期で学んだことを踏まえて、実践的に練習				
【後期】 26～30回目	脚立仕込み イベントに向けた仕込み図作成、プランニング・打ち込み				
【後期】 31～34回目	ライティングコンテスト仕込み 2年生を送る会準備(クラスで企画し、イベントをプランニング)				
【後期】 35～39回目	2年生を送る会本番 1年間の総まとめ				
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。				
備考					

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	照明実習Ⅰ－Ⅱ		授業形態 / 必・選	実習	必修
	学則上表記	照明実習Ⅰ－Ⅱ	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	76回(152単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	照明コース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	ホール管理、舞台照明の現場にてキャリアを積む。 後にフリーランスとなり、コンサート、ダンス、芝居、ミュージカルなど幅広く様々な現場で照明プラン・オペレーターとして活動中。				
授業概要					
基本的な照明機材の扱い方、現場での動き方を学び、実践的なライブを想定したオペレート練習を行う。					
到達目標					
1年次最後の合同企画イベントにて、照明仕込み図のデザインから本番の照明オペレートまで、現場の一連の流れを行う。					
授業計画・内容					
【前期】 1～5回目	現場・授業に必要な工具紹介 ケーブルの種類、巻き方説明 安全講習				
【前期】 6～10回目	機材の種類に関して学ぶ 脚立を使用したシュート フロア仕込みのシュートの仕方				
【前期】 11～15回目	特効特別授業 LHQ、ACLの知識、扱い方 PINの知識、扱い方				
【前期】 16～19回目	ボタンを使用した仕込み練習 PIN課題曲 Pearlの名称説明、Patch、Repatch				
【後期】 20～24回目	Pearl卓、Recの仕方、Editの仕方、Copy、Move、Link、Saveの仕方 校舎ライトアップ照明仕込み図作成 プランニング				
【後期】 25～29回目	アドリブの本番に対応できるようにアドリブOPの明かりの作り方を学ぶ アドリブOPの明かり作り				
【後期】 30～34回目	ボタンを使用した仕込み練習 PIN課題曲 イベント仕込み図作成、プランニング・打ち込み				
【後期】 35～38回目	企画ライブ本番 1年間の総まとめ(仕込み・オペレート)				
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。				
備考					

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	照明実地演習Ⅰ		授業形態 / 必・選	演習	必修
	学則上表記	照明実地演習Ⅰ	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	4回(20単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置コース	照明コース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	各科目担当講師、及び研修先のご担当者様等。				
授業概要					
それぞれのイベント等において接客対応、現場における作業について研修を行う。					
到達目標					
現場における作業、流れ等のノウハウ習得。イベント等を協力して作り上げることによるコミュニケーション能力の向上。					
授業計画・内容					
1回目	学校法人イーエスピー学園主催イベント				
2回目	外部コンサート・ライブスタッフ研修 屋内会場				
3回目	外部コンサート・ライブスタッフ研修 屋外会場				
4～5回目	ゲスト講師による照明授業				
評価方法	平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
備考					